



夢の実現に向けて

校長 渡部 智昭

「暑さ寒さも彼岸（ひがん）まで」の言葉通り9月23日の「秋分の日」を過ぎ、ようやく気温も下がって涼しくなってきました。「秋分の日」というと、昼と夜の長さが同じ日だと思う人もいます。また、「お墓参りの日」と思う人もいます。わが国では、古くから「お彼岸の中日」という言葉で言われ、私たちの生活の中に深くかかわりあいのある祝日の一つです。宮前中の駐車場には彼岸花も咲きはじめました。

4月にスタートした令和5年度も折り返し点を迎え、10月からは後半に入ります。少し早いですがこれから卒業・進級に向けて取り組んでいくようになります。卒業・進級といえば進路指導・キャリア教育とも関連します。宮前中学校では、1学年で、職業について学びます。興味関心のある職業について調べたり、身近な大人にインタビューしたり。1月には「未来（みらくる）ワーク体験」や「未来くる先生講演会」も行います。2年生では、上級学校について調べる学習を行います。2年生の教室前には、各自が調べた高等学校についてのレポートが掲示されています。埼玉県内の高等学校についてのレポートが多いですが、他県にある私立高校や高等専門学校もありました。3年生は、進路選択に向け、高校の説明会や文化祭に出かけるなど実際に学校を見て確認を行っています。第1回さいたま市学力検査や進路希望状況調査も行われました。10月6日には、学年の進路説明会も行われます。いよいよ進路選択が具体的になってきました。進路希望調査によると、本校3年生の約92%が埼玉県内の高校（県公立、私立）への進学を希望しています。自分の将来の夢や希望、就きたい職業などとも関連させながら進路選択を行ってください。

将来の夢に関しては、前任の小学校で卒業式前に「巣立ちの会」という発表会を行っていました。小学校6年間のまとめとして、保護者を招いて歌や詩の朗読や感謝の言葉などを披露します。会の中で、一人ひとりが将来の夢やなりたい自分の姿を発表する場面もあります。それぞれが立派に発表してとても感動的でした。夢を実現するのはなかなか難しいことですが、今学校で学んでいることが将来に役立ちます。小学校の卒業文集に「将来の夢は大学の先生になること。いまのところ好きな教科は理科、中でも電気関係のと、算数なので、電気工学科の先生になりたい」と書いた卒業生のSさんがいました。そのSさんは、現在T大学の大学院の教授になり夢を叶え、ナノテクノロジー（超微細技術）分野の研究を続け活躍されています。「カーボンナノチューブ」を研究し、巻き方と電子状態の関係を理論的に明らかにしました。Sさんのように宮前中の生徒たちにも、将来の夢を実現してもらいたいと思っています。そのためにも今しっかり学習してほしいです。

さて、運動部は明日からさいたま市中学校新人体育大会が行われます。（陸上部は、一足早く大会が始まっています。）学校総合体育大会のソフトボール部のように、どの部もさいたま市で1位を目指してがんばってほしいと思います。宮前中学校の正門の両脇にあるフェンスには、PTAのご協力により部活動の大会記録の看板が掲げられています。新人体育大会でも新たな看板が掲げられるように期待しています。

【地域にお住まいの方より嬉しいメールをいただきました。】

9月2日（土）の夕方、日進駅近くの花壇で手入れをしていたKさんの友人が通りかかりの本校男子生徒3人から「ありがとうございます」と言われ、とても気分がよかったという話を聞き、Kさんも嬉しく思ったとのことで学校にメールを送っていただきました。（生徒は、2年生のI・Yさん、K・Yさん、I・Mさんの三人でした。）